

平成 27 年「国勢調査」
世帯構造等基本集計結果の概要

平成 29 年 11 月

札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課

用語の解説や利用上の注意などについては、

総務省統計局のホームページ

(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm>)

をご覧ください。

平成 27 年 10 月 1 日現在で実施された平成 27 年国勢調査の世帯構造等基本集計結果が公表されましたので、その概要を紹介します。なお、割合は特に注記のない限り、不詳を除いて算出しています。

1 世帯概況（人口等基本集計で公表済み）

単独世帯の割合が上昇（第 1 表、第 1 図）

平成 27 年 10 月 1 日現在の札幌市の世帯数は 921,837 世帯で、うち一般世帯は 920,415 世帯、施設等の世帯は 1,422 世帯となっている。22 年と比べると、世帯数は 35,989 世帯の増加（4.1%増）、一般世帯は 35,665 世帯の増加（4.0%増）、施設等の世帯は 324 世帯の増加（29.5%増）となった。

一般世帯を世帯の家族類型別にみると、「単独世帯」が 375,242 世帯（一般世帯の 40.8%）と最も多く、以下、「夫婦と子供から成る世帯」が 213,793 世帯（23.3%）、「夫婦のみの世帯」が 194,424 世帯（21.1%）などとなっている。22 年と比べると、「単独世帯」が 27,310 世帯の増加（7.8%増）、「夫婦のみの世帯」が 10,458 世帯の増加（5.7%増）と、この 2 つで 1 万世帯を超える増加となった。一方、「夫婦と子供から成る世帯」は 5,812 世帯の減少（2.6%減）、「核家族以外の世帯」は 1,806 世帯の減少（4.5%減）と、この 2 つの家族類型で減少となった。

また、母子世帯は 15,572 世帯（一般世帯の 1.7%）、父子世帯は 1,316 世帯（0.1%）となっている。22 年と比べると、母子世帯は 1,755 世帯の減少（10.1%減）、父子世帯は 284 世帯の減少（17.8%減）となった。

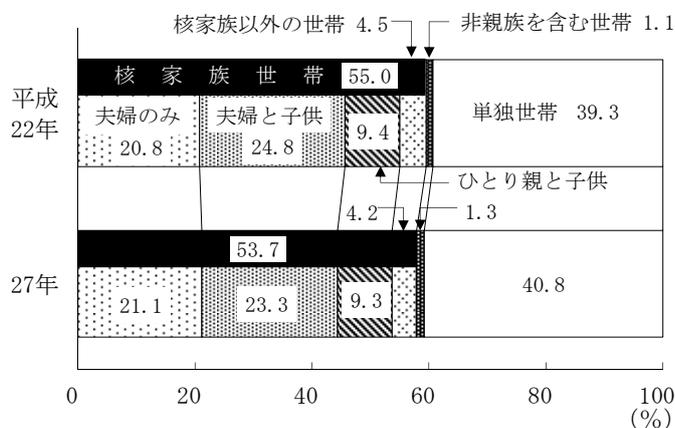
第 1 表 総世帯数、一般世帯数及び施設等の世帯数の推移

世帯の種類・世帯の家族類型	世帯数		割合（%）		増加数	増加率（%）
	平成 22 年	27 年	22 年	27 年		
総世帯数	885,848	921,837			35,989	4.1
一般世帯 1)	884,750	920,415	100.0	100.0	35,665	4.0
親族のみの世帯	526,514	531,945	59.5	57.9	5,431	1.0
核家族世帯	486,407	493,644	55.0	53.7	7,237	1.5
夫婦のみの世帯	183,966	194,424	20.8	21.1	10,458	5.7
夫婦と子供から成る世帯	219,605	213,793	24.8	23.3	△ 5,812	△ 2.6
ひとり親と子供から成る世帯	82,836	85,427	9.4	9.3	2,591	3.1
男親と子供から成る世帯	9,514	10,049	1.1	1.1	535	5.6
女親と子供から成る世帯	73,322	75,378	8.3	8.2	2,056	2.8
核家族以外の世帯	40,107	38,301	4.5	4.2	△ 1,806	△ 4.5
非親族を含む世帯	10,117	12,311	1.1	1.3	2,194	21.7
単独世帯	347,932	375,242	39.3	40.8	27,310	7.8
（再掲）3 世代世帯	21,403	20,124	2.4	2.2	△ 1,279	△ 6.0
（再掲）母子世帯	17,327	15,572	2.0	1.7	△ 1,755	△ 10.1
（再掲）父子世帯	1,600	1,316	0.2	0.1	△ 284	△ 17.8
施設等の世帯	1,098	1,422			324	29.5

注：1) 世帯の家族類型「不詳」を含む。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第 1 図 一般世帯の家族類型別割合の推移（各年 10 月 1 日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

2 親との同居・非同居

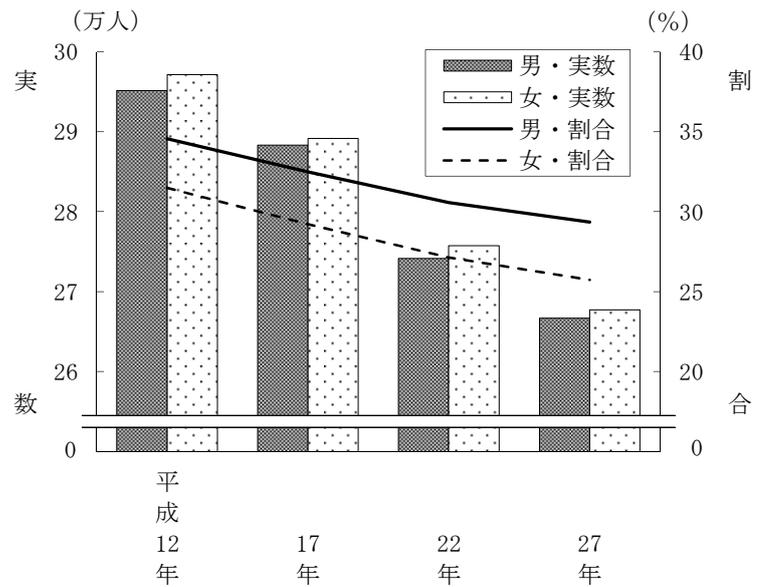
親と「同居している」者の数及び割合は減少及び低下が続く（第2表、第2図）

親と「同居している」者は534,440人で、総人口(1,952,356人)の27.4%を占めている。これを男女別にみると、男性は266,711人(男性の29.3%)、女性は267,729人(女性の25.7%)となっている。

親と「同居している」者の12年からの推移をみると、減少が続いており、12年(592,325人)と比べて57,885人の減少となっている。割合も低下しており、12年は33.0%と3割を超えていたが、27年は27.4%と3割を割っている。男女別に推移をみても、数の減少及び割合の低下が続いている。

さらに未婚者についてみると、親と「同居している」者は475,029人で、未婚者全体(718,288人)の66.1%を占めている。

第2図 親と「同居している」者の男女別人口及び割合の推移（各年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第2表 親との同居・非同居、男女別人口の推移

年次	総数				うち未婚			
	総数 1)	同居していない	同居している	同居の割合 (%) 2)	総数 1)	同居していない	同居している	同居の割合 (%) 2)
総数								
平成12年	1,797,479	1,205,056	592,325	33.0	719,781	202,392	517,324	71.9
17年	1,877,965	1,300,297	577,507	30.8	736,651	232,971	503,563	68.4
22年	1,913,545	1,363,060	549,930	28.7	741,268	253,504	487,670	65.8
27年	1,952,356	1,414,558	534,440	27.4	718,288	243,137	475,029	66.1
男								
平成12年	853,911	558,693	295,179	34.6	366,336	106,380	259,928	71.0
17年	887,814	599,400	288,336	32.5	374,801	120,889	253,845	67.7
22年	896,850	622,429	274,152	30.6	376,112	130,327	245,732	65.3
27年	910,614	642,287	266,711	29.3	361,505	121,366	240,069	66.4
女								
平成12年	943,568	646,363	297,146	31.5	353,445	96,012	257,396	72.8
17年	990,151	700,897	289,171	29.2	361,850	112,082	249,718	69.0
22年	1,016,695	740,631	275,778	27.1	365,156	123,177	241,938	66.3
27年	1,041,742	772,271	267,729	25.7	356,783	121,771	234,960	65.9

注：1) 「同居しているか否か判定できない者」を含む。 2) 「同居しているか否か判定できない者」を除いて算出。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

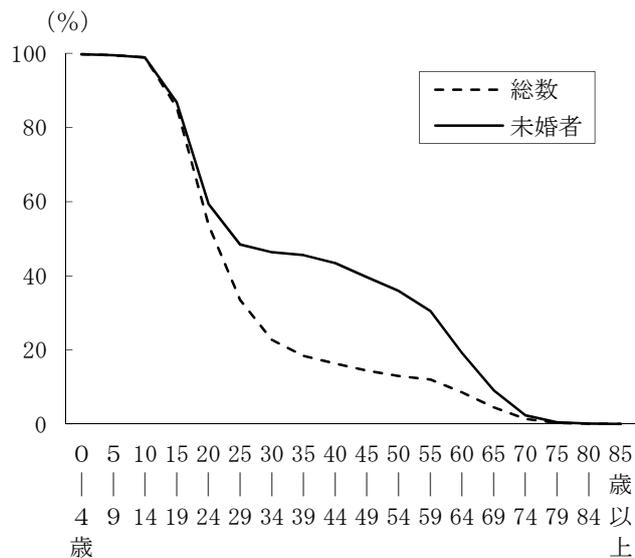
親と「同居している」未婚者の割合は、30～54歳の各年齢階級で総数よりも20ポイント以上高い（第3表、第3図）

親と「同居している」者の割合を年齢（5歳階級）別にみると、0～14歳の各年齢階級では100%近くとなっており、年齢が上昇するにしたがって割合が低下している。特に「15～19歳」（85.4%）から「30～34歳」（22.7%）にかけて大幅な低下となっているが、それ以降の年齢階級では緩やかに低下している。

一方、未婚者をみると、「15～19歳」（86.8%）から「25～29歳」（48.4%）にかけて大幅な低下となっているが、それ以降は「55～59歳」（35.9%）まで緩やかに低下している。その後、「70～74歳」（2.4%）にかけて再び大幅な低下となっている。

総数と未婚者の、親と「同居している」割合を比べると、総数は27.4%であるのに対し、未婚者は66.1%と、総数と比べて未婚者の方が38.7ポイント高くなっている。また、30～54歳の各年齢階級では、未婚者が総数と比べて20ポイント以上高くなっている。

第3図 親と「同居している」者、配偶関係別人口割合（平成27年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第3表 親との同居・非同居、配偶関係、年齢（5歳階級）別人口

平成27年10月1日現在

年齢 (5歳階級)	総 数				う ち 未 婚			
	総数 1)	同居して いない	同居して いる	同居の 割合 (%) 2)	総数 1)	同居して いない	同居して いる	同居の 割合 (%) 2)
総 数 3)	1,952,356	1,414,558	534,440	27.4	718,288	243,137	475,029	66.1
0～4歳	70,602	216	70,338	99.7	70,602	216	70,338	99.7
5～9歳	73,427	384	73,004	99.5	73,427	384	73,004	99.5
10～14歳	76,984	878	76,094	98.9	76,984	878	76,094	98.9
15～19歳	89,066	12,967	76,097	85.4	87,545	11,575	75,968	86.8
20～24歳	100,582	46,560	54,019	53.7	89,772	36,432	53,338	59.4
25～29歳	106,457	70,831	35,621	33.5	69,878	36,035	33,840	48.4
30～34歳	120,622	93,231	27,386	22.7	51,794	27,831	23,962	46.3
35～39歳	135,890	110,898	24,986	18.4	43,621	23,738	19,881	45.6
40～44歳	155,012	129,812	25,194	16.3	41,844	23,698	18,144	43.4
45～49歳	137,894	118,091	19,801	14.4	31,744	19,170	12,573	39.6
50～54歳	129,345	112,575	16,766	13.0	23,841	15,283	8,556	35.9
55～59歳	121,290	106,688	14,599	12.0	17,315	12,041	5,274	30.5
60～64歳	139,358	127,362	11,991	8.6	14,858	12,004	2,852	19.2
65～69歳	149,741	143,068	6,670	4.5	11,450	10,403	1,046	9.1
70～74歳	108,494	106,966	1,524	1.4	5,840	5,696	141	2.4
75～79歳	86,303	85,995	302	0.3	3,397	3,380	16	0.5
80～84歳	69,967	69,925	39	0.1	2,365	2,362	2	0.1
85歳以上	69,029	69,011	9	0.0	2,011	2,011	—	—

注：1) 「同居しているか否か判定できない者」を含む。 2) 「同居しているか否か判定できない者」を除いて算出。 3) 年齢「不詳」を含む。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」

3 子との同居・非同居

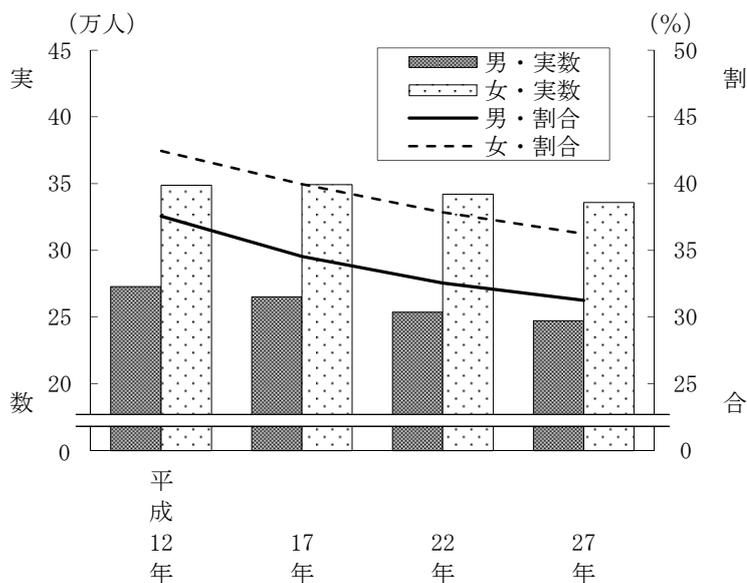
子と「同居している」15歳以上人口の数及び割合は減少及び低下が続く（第4表、第4図）

15歳以上人口（1,719,050人）のうち、子と「同居している」者は583,326人で、15歳以上人口の33.9%を占めている。これを男女別にみると、男性は247,378人（男性の31.3%）、女性は335,948人（女性の36.2%）となっている。

推移をみると、子と「同居している」者の割合は低下を続けており、平成12年は40.2%と4割を超えていたが、27年は33.9%と6.3ポイント低下している。男女別に推移をみると、数の減少傾向及び割合の低下が続いている。

また、有配偶者についてみると、子と「同居している」者は488,197人で、有配偶者全体（927,488人）の52.6%を占めている。

第4図 子と「同居している」者の男女別15歳以上人口及び割合の推移（各年10月1日現在）



＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」

第4表 子との同居・非同居、配偶関係、男女別15歳以上人口の推移

年次	総数				うち有配偶			
	総数 1)	同居していない	同居している	同居の割合 (%) 2)	総数 1)	同居していない	同居している	同居の割合 (%) 2)
総数								
平成12年	1,549,074	926,876	621,844	40.2	886,103	348,818	537,214	60.6
17年	1,643,879	1,028,558	614,802	37.4	903,765	382,608	521,025	57.7
22年	1,684,109	1,087,818	595,871	35.4	915,050	416,799	498,156	54.4
27年	1,719,050	1,135,199	583,326	33.9	927,488	439,155	488,197	52.6
男								
平成12年	726,798	453,812	272,892	37.6	439,200	177,288	261,884	59.6
17年	768,633	503,150	265,355	34.5	446,976	193,752	253,170	56.6
22年	779,927	526,049	253,775	32.5	452,226	210,929	241,257	53.4
27年	791,424	543,923	247,378	31.3	456,988	221,859	235,076	51.4
女								
平成12年	822,276	473,064	348,952	42.5	446,903	171,530	275,330	61.6
17年	875,246	525,408	349,447	39.9	456,789	188,856	267,855	58.6
22年	904,182	561,769	342,096	37.8	462,824	205,870	256,899	55.5
27年	927,626	591,276	335,948	36.2	470,500	217,296	253,121	53.8

注：1) 「同居しているか否か判定できない者」を含む。 2) 「同居しているか否か判定できない者」を除いて算出。

＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」

4 母子世帯及び父子世帯

母子世帯、父子世帯ともに子供が「1人」の割合が最も高い（第5表、第5図、第6図）

母子世帯及び父子世帯（未婚、死別または離別の女親または男親と、その未婚の20歳未満の子どものみから成る一般世帯をいう。）について、子供の数別にみると、母子世帯では「1人」が9,301世帯で母子世帯（15,572世帯）の59.7%を占めて最も多くなっている。父子世帯も「1人」が807世帯で父子世帯（1,316世帯）の61.3%を占めて最も多くなっている。

また、最年少の子供の年齢についてみると、母子世帯では「6～14歳」が8,115世帯で母子世帯の52.1%を占めて最も多くなっている。父子世帯も「6～14歳」が656世帯で、父子世帯の49.8%を占めて最も多くなっている。

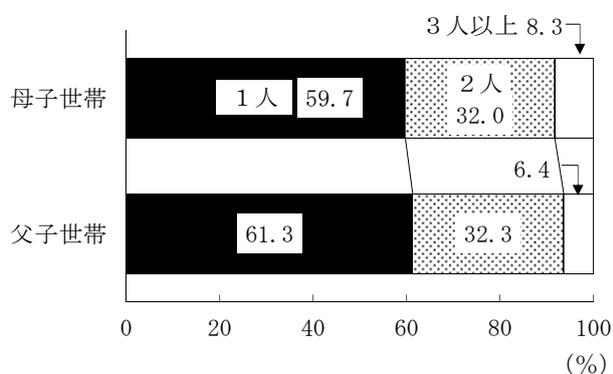
第5表 母子世帯、父子世帯に占める子供の数別割合及び最年少の子供の年齢別割合

平成27年10月1日現在

子供の数、 最年少の 子供の年齢	実 数		割 合（％）	
	母子世帯	父子世帯	母子世帯	父子世帯
子 供 の 数				
総 数	15,572	1,316	100.0	100.0
子供が1人	9,301	807	59.7	61.3
子供が2人	4,981	425	32.0	32.3
子供が3人以上	1,290	84	8.3	6.4
最年少の子供の年齢				
総 数	15,572	1,316	100.0	100.0
6歳未満	2,727	95	17.5	7.2
6～14歳	8,115	656	52.1	49.8
15～17歳	3,134	357	20.1	27.1
18～19歳	1,596	208	10.2	15.8

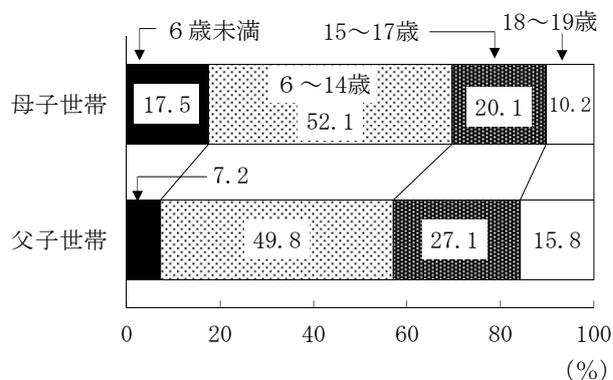
<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第5図 母子世帯、父子世帯に占める子供の数別割合（平成27年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」

第6図 母子世帯、父子世帯に占める最年少の子供の年齢別割合（平成27年10月1日現在）



<資料> 総務省統計局「国勢調査」